

## 疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

## 研究課題名

腫瘍によって圧排された後頭蓋窩脳神経のトラクトグラフィーによる描出能に関する後方視的検討

**研究の背景・目的：**脳腫瘍の手術において、神経障害は術後の予後に関与する重要な因子です。神経損傷のリスク低減のためには、あらかじめ神経と腫瘍の正確な関係を把握することが重要ですが、腫瘍によって圧排・伸長された神経は通常の MRI では同定困難なことがあります。最近白質線維の描出がトラクトグラフィーといった技術によって可能になりました。近年では、この技術を通常では確認困難な脳神経の描出に応用しようとした試みがされています。しかし、トラクトグラフィーを用いても、圧排・伸長された脳神経が描出可能かどうかははっきりしていません。そこで本研究では当科ですでに術前検討に用いた M リデータを後方視的に検討し、圧排伸長された後頭蓋窩脳神経のトラクトグラフィーによる描出能を検討することで、後頭蓋窩脳腫瘍における安全な手術の提供などに寄与することを目的とします。

## 研究の方法

## ●対象となる方：

2019年3月1日より2024年4月30日の間、東京警察病院で後頭蓋窩腫瘍に対して手術を受けた患者を対象とします。

●**研究期間：**医学倫理審査委員会承認後より研究開始となり、2025年12月31日までの間、後頭蓋窩腫瘍に対して手術を施行した患者さんのデータ解析を行います。

●**利用する検体やカルテ情報：**通常診療で必要であった、術前後の症状、画像所見の解析を行います。新たな検査などは必要ありません。

●**検体や情報の管理：**得られたデータは匿名化し、研究を分担するスタッフのみがアクセス可能として、作業場所、データ保管場所などの管理を厳重に致します（管理責任者：吉野正紀）。研究成果の公表に際しては、個人が特定されないように配慮するなど、当院の規定に基づき個人情報保護の徹底に努めます。

## 個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

## 連絡先

東京警察病院 脳神経外科

電話番号 03-5343-5611（代表） （内線）3068

担当医師：吉野 正紀